

事業番号	15 07 09	事業改善シート(27年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	県立長野図書館事業費		担当課	部局 教育委員会事務局 課・室 文化財・生涯学習課 E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画	プロジェクト	8-6-2 教育再生プロジェクト	実施期間	S4 ~
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 1 学びの成果が生きる生涯学習の振興		

1 事業の概要

目指す姿	<p>○生涯学習拠点としての図書館 県民が地域課題解決のために情報収集し、学びの成果を地域に還元できるよう県内公共図書館とともに生涯学習拠点としての図書館を目指す。</p> <p>○長野県・信州に関する地域情報の拠点としての図書館 長野県・信州に関する資料収集への「こだわり」を持ち、網羅的な収集・整理・保存を行うとともに、デジタル情報社会に対応した地域情報資産の活用方法等の調査研究・提案・実践を目指す。</p>
現状(予算編成時)	<p>○図書資料購入費が年々減額され、全国的に見ても非常に低い。(H26当初予算全国第44位)</p> <p>○多様なニーズに対し、正確かつ適切な情報を活字・電子の両媒体で提供できる体制づくりが必要。H25に、県立図書館としての役割について改めて検討を行った。今後の方向性についての結果を踏まえた事業の実施に取り組む。</p>

県が関与する理由	<p>県関与の必要性あり</p> <p>県民との協働による実施：検討中</p> <p>【左記の説明、根拠法令等】 社会教育法、図書館法、県立長野図書館条例</p>
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)
	<ul style="list-style-type: none"> 県民の情報拠点として、多様なサービスを提供し、県民の自主的な生涯学習活動の支援をする。(個人貸出冊数140,000冊、調査相談件数11,000件) 市町村立図書館との連携及び図書館未設置町村への支援を行う。(相互貸借年間利用5,000冊)

成果目標・事業内容	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27		H28
			(当初)	(決算)	(当初)
	管理運営費	直接	54,416	53,789	62,062
	コンピュータ管理費	直接	28,604	27,365	28,604
	図書館事業費	直接	41,832	39,277	30,631
改革事業費	直接	0	0	6,627	
		合計	124,852	120,431	127,924

事業コスト	区分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	119,525	117,044	124,852	127,924
		補正予算				
		合計(A)	119,525	117,044	124,852	127,924
	Aの財源	一般財源	116,729	109,628	110,950	124,957
		県債				
		国庫支出金			750	
		その他	2,796	7,416	13,152	2,967
	決算額(B)	118,284	114,871	120,431		
概算人件費	職員数(人)	24.00	23.00	23.00	21.00	
	概算人件費(C)	198,192	189,934	190,348	173,796	
	概算事業費(B(A)+C)	316,476	304,805	310,779	301,720	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
個人貸出冊数	131,732冊	140,000冊	138,423冊	未達成	-
調査相談件数	8,083件	11,000件	7,888件	未達成	-
相互貸借冊数	5,378冊	5,000冊	5,777冊	達成	-
県内図書館サポート件数	308件	-	528件	-	450件
一般向け情報提供サービス件数	9178件	-	9881件	-	10600件

目標に対する成果の状況	<p>・開館期間は昨年度より7日多くなり、来館者も増えたため、個人貸出冊数は目標には届かなかったものの、H26年度比105.1%となった。</p> <p>・調査相談件数については、目標の78.7%に止まった。また、特定の分野に関する相談が約600件減少したことから、結果的に前年度の件数も下回った。件数だけでなく、その回答内容や回答後の満足度の向上についても引き続き取り組んでいくことが重要と捉えている。</p> <p>・相互貸借冊数については、運搬料を全額県が負担し、有効な活用方法について周知を行った結果、目標を大きく上回った。特に県内公共図書館への貸出冊数は前年比114.8%であり、市町村支援やネットワーク強化に効果的と思われるため、今後も拡充していきたい。</p>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>・外部登用した館長のもと、「情報の改革」「人の変革」「場の革新」の3つを柱に、改革の具体化を進める。次年度は、業務改善により自ら捻出した事業費により、図書資料の充実、図書館フォーラム等の開催による意識改革・人材育成、デジタル情報活用モデル空間の創出等を実施し、県立図書館の専門性・広域性を高める。</p> <p>・合わせて、市町村・大学との連携を強化するとともに、県内外にも改革について情報発信し、県全体の公共図書館の機能向上への機運を高める。</p>
--------------------	--